

## ディーゼル自動車等運行規制のあり方検討に係る小委員会の設置について（案）

### 1 小委員会の設置について

ディーゼル自動車等運行規制のあり方については、平成 20 年度の環境審議会答申において「条例規制の存廃時期については、平成 22 年度を一つの区切りとして、環境の状況等を考慮したうえ、以降の規制についての方向性を検討し、決定するのが望ましい。」とされている。

今年度、環境審議会に諮問し、大気環境部会で審議いただくにあたり、大気環境濃度予測や条例の効果を検証するためには、排出量の算定手法や大気汚染予測モデルの妥当性等について検討し、規制パターンごとの大気汚染濃度予測により規制継続・見直しの必要性等を専門的な知見に基づき、詳細に調査・検討する必要があるため、兵庫県環境審議会の運営に関する規程第 10 条に基づく小委員会を設置し、審議することとする。

### 2 小委員会委員（案）について

小委員会委員は、検討内容に関連する分野を専攻されている学識者から、運行規制条例制定時の「自動車運行規制に係る調査委員会」も考慮し選出した以下の 5 名とする。

氏名	所属	分野	備考
山口 克人	大阪大学名誉教授	大気汚染	大気環境部会長 (小委員会委員長兼務)
小谷 通泰	神戸大学大学院教授	交通工学	
小林 悦夫	(財)ひょうご環境創造協会顧問	環境全般	
西村 多嘉子	大阪商業大学教授	流通経済学	
山村 充	兵庫県立大学准教授	環境リスクアセスメント	

### 3 審議内容について

大気環境濃度の現況について把握した上で、ディーゼル自動車等の運行規制に係る下記事項について調査・検討を行うとともに、条例規制内容の見直しの必要性についての提言を行う。

- (1) 排出量の算定手法の妥当性
- (2) 大気汚染予測モデルの妥当性
- (3) 将来排出量の推計方法
- (4) 規制パターンごとの大気汚染濃度予測
- (5) 規制の継続又は見直しの必要性や支援策の必要性
- (6) その他規制の見直しにあたって重要となる事項

#### 4 スケジュールについて（案）

平成 23 年 8 月 5 日 環境審議会へ諮問

平成 23 年 8 月 12 日 環境審議会大気環境部会（第 1 回）

- ・第 1 回小委員会（シミュレーション方法等の検討）
- ・第 2 回小委員会（シミュレーション結果等の検討）
- ・第 3 回小委員会（シミュレーション結果等の検討、今後のあり方検討）
- ・第 4 回小委員会（小委員会報告まとめ）

平成 23 年 10 月 環境審議会大気環境部会（第 2 回）

- ・パブリックコメント

平成 23 年 11 月 環境審議会大気環境部会（第 3 回）

平成 23 年 11 月 環境審議会答申